

令和4年度計画重点項目

1. 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

「地域貢献・教育重視型大学」実現のための大学改革を推進する。

- 地域人材育成を目標に既存学科の見直し、新学科等の検討を行う。(No.1-2)
引き続き「短期大学部あり方検討委員会」において以下の事項に取り組む
- ・令和5年4月に総合文化学科を「文化情報学科」へ名称変更する。
- ・志願者数の増加を図り、目的意識をもった入学者を増やすため、推薦型選抜の制度見直しを行う。
- ・学生の学びの幅を広げるため、短大部から人間文化学部への編入学制度の拡充を図る。
- ・短期大学部に司書養成課程を設置する。

2. 地域に貢献する人材を輩出する大学

島根を創る人づくり事業

「島根(県大)で学ぶ学生を増やす事業」「島根を学ぶ学生を増やす事業」「島根で就職する学生を増やす事業」を3本柱として事業を構築

高大連携の強化、地域貢献の推進、県内定着の促進といった「島根を創る人づくり」を協力を推進する。

- 大田市大森町にサテライト施設「大森まちなか図書館」を開設し、実践的な地域学習を展開するとともに、地域住民との交流拠点として活用する。(No. 1-3)
- 高校からの連携依頼に応え、高校からの大学への学びの連続性を確保するために、県内の高校・特別支援学校・県教育委員会と連携・協働しながら、「高校の課題解決型学習等を促進するための様々な支援」及び「県立高校が構築する「高校魅力化コンソーシアム」へ参加・助言等」の2点を軸に取組をより一層加速させる。(No. 26)
- 引き続き、「しまね産学官人材育成コンソーシアム」、自治体、商工団体等と連携して、地域の担い手となる人材の県内定着に資する企画を実施する。(No. 44-1)
- 令和3年度に創設した「しまねの未来を担う人財奨学金」制度を円滑に運用するために、必要に応じて要綱等を見直す。また、適宜、支給対象者のフォローを行う。
- 大学と企業等が連携して設計した長期インターンシップ、有償型インターンシップについて、更に良いものになるようPDCAサイクルを構築する。(No.44-3)

3. 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

研究成果を教育や地域に確実に還元する取組みとともに、関係機関と連携した地域の課題解決に向けた取組みを推進する。

- しまね地域国際研究センターにおいて、島根県が抱える地域及び国際的な課題に関する研究の助成金制度を拡充して公募を行い、「KENDA I 縁結びフォーラム」において研究成果を地域に還元するとともに、自治体、県内中小企業、等の各機関との連携を強化する。(No. 50)

4. 国際交流・海外留学等の促進

国際交流事業を通じたグローバル(グローバル)人材育成の促進を図る。

- 全キャンパスにおける留学希望者への支援や、海外実践活動支援制度「グローバルドリームハント」等、オンラインを含めた学生の各種プログラムへの参加の呼びかけと支援を強化する。(No. 29-4)

5. 理事長・学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

- 島根創生に資する重要施策の全学的推進のため、「魅力化推進本部」において大学の魅力化に向けた制度構築・改善や事業を実施する。(No. 1-1)